

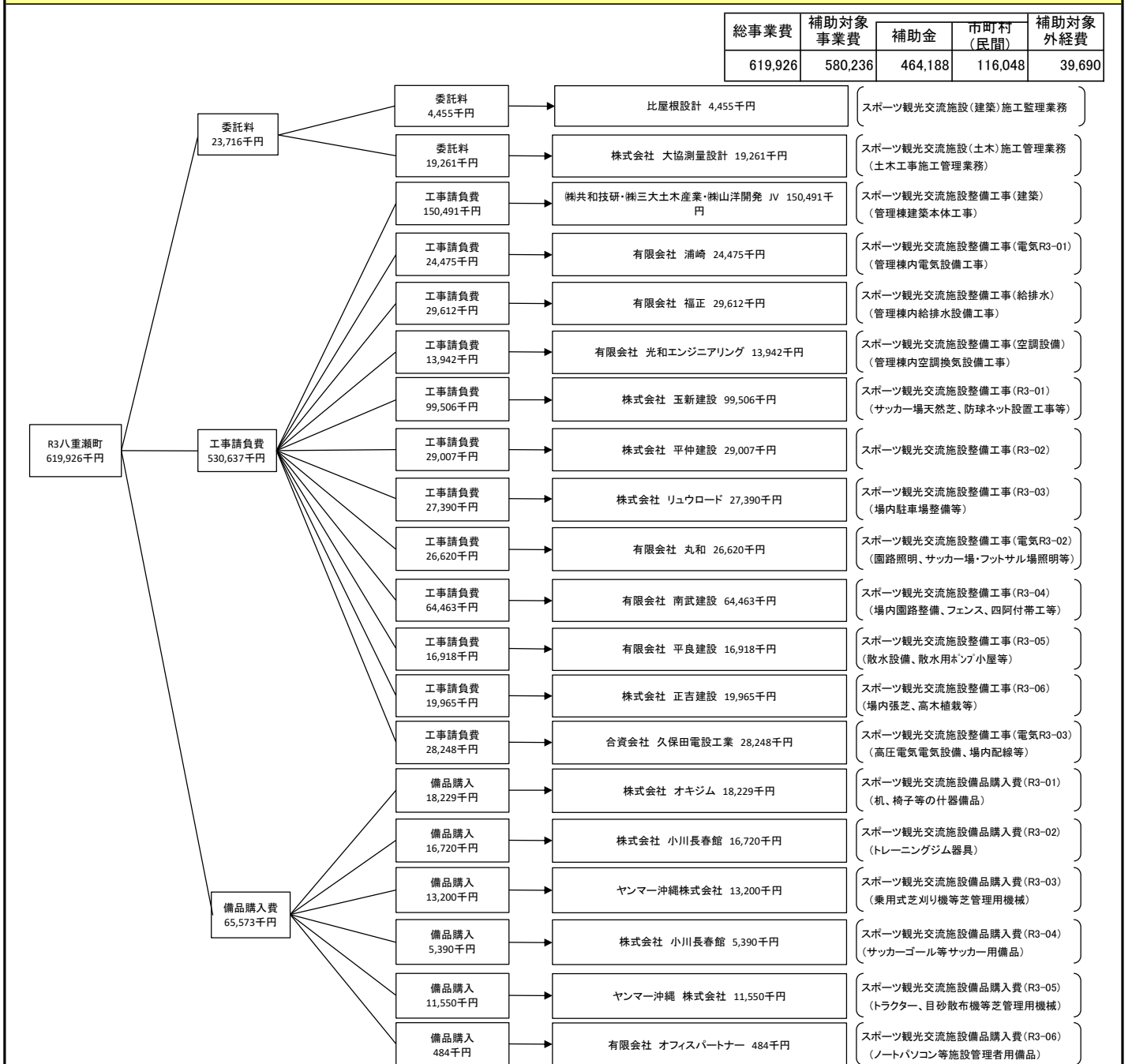
事業主体名	八重瀬町						
令和3年度(繰越)年度沖縄振興特定事業推進費(市町村)検証シート							
事業名	八重瀬町スポーツ観光交流施設整備事業				担当部課名	スポーツ振興課	
					認定市町村名	-	
広域性要件または先導性要件の該当有無	<input checked="" type="checkbox"/>	広域性要件	現年事業または繰越事業	<input type="checkbox"/>	現年事業	事業実施(予定)年度	
	<input type="checkbox"/>	先導性要件		<input checked="" type="checkbox"/>	繰越事業		
事業内容	サッカーを通じた地域間交流、県内外のファンとプロサッカー選手との観光交流機能と、Jリーグ規格を満たす練習拠点機能を有するサッカーグラウンド等を整備する。 那覇空港や周辺の沖縄県南部地域(八重瀬町、糸満市、豊見城市、南風原町、与那原町、南城市)からのアクセスの面で利便性が高く、国内のJリーグに所属し、全国でも知名度の高いFC琉球の練習拠点として整備することで、南部地域の県外客訪問率及び宿泊率の増加に寄与する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和5年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「補助金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		R1年度	R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R3年度(繰越)
		当初予算額	0	102,408	0	406,833	0
		増減額	9,922	333,811	0	558,150	0
		予算現額	9,922	436,219	0	964,983	0
		前年度から繰越	0	0	230,316	0	592,265
		翌年度へ繰越	0	230,316	0	592,265	0
		計(A)	9,922	205,903	230,316	372,718	592,265
		執行済額(B)	9,009	205,903	230,191	372,718	580,236
		うち補助金充当額	7,207	164,722	184,153	298,174	464,188
		不用額	913	0	125	0	12,029
執行率(%) (B/A)	90.8%	100.0%	99.9%	100.0%	98.0%		
予算の状況の説明	R1年度の不用額は入札残によるものである。R2年度において解体工事にアスベスト処理が追加となり工期に遅れが生じたため繰越となりその後の工事影響が残ったが繰越の年度内での工事を適正に執行できた。不用額R2年度(繰越)125千円、令和3年度(繰越)の12,029千円は委託費、工事、備品購入費の入札残によるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)	達成状況					
	業務・工事の完了	目標	(測量業務)	(基本設計・実施設計・解体撤去・造成工事)	(価格の特別調査整備工事)	()	()
		実績	完了	完了	完了		
	備品購入の完了	目標	(-)	(-)	(備品の購入)	()	()
		実績			完了		
達成状況説明	建築工事において、杭基礎で当初予定のない土質の調査や杭の工法検討等に不測の日数を要し、繰越事業となったが、繰越年度内において適正に事業を執行し当初計画していたJリーグ規格を満たす練習拠点機能を有するサッカー場として、Jリーグクラブライセンスの登録ができた。また、備品も供用開始前に購入を行うことができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	成果目標(指標)	基準値(H30年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(R5年度)	
	沖縄県南部地域における県外客の訪問率(H30年度実績以上)	目標		-	-	-	22.2%以上
		実績	22.10%	27.80%	29.40%	27.60%	30.10%
	成果目標(指標)	基準値(H30年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(R5年度)	
	沖縄県南部地域における県外客の宿泊率(H30年度実績以上)	目標		-	-	-	4.3%以上
実績		4.20%	7.30%	28.10%	26.60%	29.10%	
進捗状況説明	○八重瀬町、町サッカー協会、プロサッカーチーム、芝生管理業者とで4者協議を実施し、人工芝生の状態を共有しながら各種イベントや利用方法についての協議を実施している。 ○プロサッカーチーム(J1)のキャンプの誘致を行うことができ、プロサッカーチームのトレーニングマッチを当施設で行うことができた。 ○県外の中学チームや国外のU15チームを誘致し、町選抜チームや近隣市町村のチームも含めて交流することができた。						

取組の検証	成果目標に対する原因・要因分析	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>○サッカーのオフシーズン時の施設利用やキャンプ等でのイベント実施が可能か継続し協議する。</p> <p>○当施設は天然芝と人工芝の施設を兼ね備えており、県外プロチームや学生チームに評判がよいが、連続使用をすると良好な芝生状態を保つのが難しいため養生期間や張替期間等の制限がある。</p> <p>○供用開始をおこなって間もないため、もっと県外チームにも施設アピールが必要である。</p>	<p>○沖縄は亜熱帯地域であることから年間を通して温暖であるという優位性を生かし、芝生の生育を高める。</p> <p>○プロサッカーチームとシーズン開幕前のキャンプ時において、ファンイベント等での集客が見込めるイベントの実施を調整し知名度を高める。また、町観光物産協会とも連携をとり、県外学生チームや社会人チームも誘致ができるようにアピールしていく。</p>

今後の取り組み方針

県内唯一のプロサッカーチームの練習拠点施設であることを県サッカー協会や町のサッカー協会と連携しHPやイベントを通じて県内外に広くアピールしていく。また、プロスポーツ施設の環境を一年中整えることでサッカー応援サポーターのみならず、サッカー場を活用したスポーツツーリズムによる観光ニーズを満たすことが可能となるため、沖縄県及び南部地域における県外客の訪問率、県外客の宿泊率を目標値以上となるよう観光振興に寄与する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流し、点検、評価	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流し、点検、評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事及び委託については、本町指名審査会で選定し、指名競争入札により実施しており妥当であったと考える。また、随意契約については、地方自治法施行令167条の2第1項第2号に基づいており妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○積算については、3者見積により予算編成を行った。また、不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	-
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費用、使途については積算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。